

公財盛文事号外
令和4年3月2日

報道機関各位

公益財団法人盛岡市文化振興事業団
理事長 三浦 宏

主催事業に係る周知方について(依頼)

日ごろ、当事業団の事業運営につきましては、格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当事業団では別添のとおり主催事業を実施いたします。

つきましては、広く市民の皆様に当該事業をお知らせいただきたく、貴報道機関を通じての周知方、よろしくお願い申し上げます。

また、お取り上げいただける場合は出演者の写真等もご用意できますので、ご一報いただければ幸いです。

ご多用のところ恐縮ではございますが、よろしくお願い申し上げます。

公益財団法人盛岡市文化振興事業団
担当：企画事業部 長根山明美
Tel 019-621-5151 / Fax 019-621-5101

新・純邦楽ユニット

WASABI LIVE 2022

日本の心、和の響き



「和楽器だけの音楽で、和の格好良さ*を追求し、若い人たちに伝えたい」と、吉田兄弟の兄・吉田良一郎が立ち上げた、和楽器ユニットのフロントランナー。伝統を受け継ぎ、歴史をつくる。新しい邦楽の可能性の追求はとまらない。

新たな邦楽の世界が沸き上がるグルーヴ感――

吉田 良一郎(津軽三味線)
元永 拓(尺八)
市川 慎(箏・十七絃)
美藤 直三郎(太鼓・鳴り物)

2022.5.24 (Tue) 開場 午後6時15分
開演 午後7時

キャラホール 大ホール

岩手県盛岡市永井24-10-1
<https://www.mfca.jp/kyarahall/>

PROGRAM

- ◆ AZUMA
- ◆ KOKIRIKO
- ◆ アガイトイーラ ほか

※曲目、曲順は変更となる場合があります

TICKET 3.3 (木) 発売

全席
指定

前売料金

一般: 4,500円 U-25チケット(25歳以下対象): 2,500円(当日各500円増)

m-Friends 料金

一般: 4,050円(前売のみ/1会員2枚まで/U-25チケットは対象外)

※U-25チケットは25歳以下の方が対象です。購入時及び公演当日、年齢のわかる身分証をご持参ください。なお、U-25チケットを対象者以外の方が当日に利用された場合は、一般前売料金との差額を頂戴いたします。※m-Friendsチケット及びU-25チケットは盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホールでのお取扱いとなります。この公演は令和4(2022)年度mフレンズ入会手続きが必要です。※車イス席のチケットは、キャラホールのみのお取扱いとなります。(前売料金:4,500円、m-Friends割引対象) ※未就学児はご入場できません。

【プレイガイド】カワトク、アネックスカワトク、岩手県民会館、江釣子SCバル、盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、姫神ホール、キャラホール

感染症対策にご協力をお願いします。詳しくは、チラシ裏面またはHP等をご確認ください。

【主催】盛岡市文化振興事業団 【共催】盛岡市、岩手日報社 【後援】めんこいテレビ 【お問い合わせ・チケット予約】キャラホール Tel.019-637-6611

新・純邦楽ユニット

WASABI LIVE 2022

和楽器といっても、それぞれ活躍の土壌に違いのある津軽三味線、尺八、箏、太鼓の4種の奏者によるこのユニットには、4人のためのオリジナル曲がかかせない。セッションとディスカッションを重ねながら磨きをかけ、キャッチーなメロディーラインとコンパクトさを意識した構成による楽曲で、雅で叙情的な世界観だけではなく、迫力ある「和のバンド」のグルーブで魅了する。

新・純邦楽ユニット WASABI

吉田兄弟(兄) 吉田良一郎が「日本の心の響き」と題した学校公演プロジェクトとして、元永拓(尺八)、美鵬直三朗(太鼓・鳴り物)と2008年に活動を始める。

2010年に市川慎(箏・十七絃)が加入し、津軽三味線/尺八/箏/太鼓による代表的な和楽器が集結した新・純邦楽ユニットが誕生する。

2011年にユニット名を、「WA」=和、「SABI」=サビ(盛り上がり)という意味合いから命名。

2012年にデビューアルバム『WASABI』をリリース。一般公演もスタート。キャッチーなメロディーラインとコンパクトさを意識した構成による楽曲で、日本人に限らずステレオタイプにイメージしがちな雅で叙情的な世界観だけではなく、迫力ある「和のバンド」のグルーブを生み出している。

吉田兄弟・疾風との特別公演「和の祭典」・朗読劇 一期一会「マクベス」・戦国プロ型朗読劇「SAMURAI.com 叢書」・『シアトリカルライブ 版義経千本桜』にも参加。

また海外公演(ASEAN3ヶ国/台湾/ヨーロッパ/南米)もスタートさせるなど、活動の幅を広げ、ミュージックシーンから、その動向に熱い注目が集まっている。

2014年に2nd ALBUM 『WASABI 2』、2019年6月には『WASABI 3』をリリースしている。



吉田 良一郎 | 津軽三味線 |

父の勧めにより5歳で三味線を手にする。同級生とは違った習い事に少年時代は恥ずかしさを覚えたが、津軽三味線と出会いその魅力に惹きつけられる。弟・健一と競い合うように習得し、共に数々の津軽三味線の大会で入賞を重ねて注目される。

吉田兄弟として1999年にメジャーデビュー、2003年には全米デビューを果たす。

無我夢中で駆け抜けた20代も終わる頃、自分の体が変わってきたと感じる。自分のプレイスタイルを見直す作業のなかで、「和」の音楽をもっと突き詰めたいと考えようになった。一方で「このままでは民謡も、和楽器も衰退してしまっているのではないか」という危機感を強く持つ。津軽三味線だけではなく、他の和楽器も交えた伝統音楽の良さを伝えるために「ライヴワークとして学校公演をやりたい。」これがこのユニットの出発点になる。

民謡や古典の世界観は、現代人の生活とはかけ離れたものになり、難解と思われがちだ。先人が残してくれた素晴らしい民謡や古典の要素を使いながら、今の感性にあったアプローチで「和のカッコイイ」音楽を作ることがテーマ。新しい風を感じてもらえるおもしろいグルーブがきたと感じている。



元永 拓 | 尺八 |

4歳からヴァイオリン、中学生ではトロンボーンと楽器にふれることが多かった。一方で、幼少から少年時代を台湾、シンガポールで過ごし、「和」に憧れを持つようになる。シンプルでクリーン、スピリチュアル。

日本文化の持つ「静」に強く惹かれた。帰国後、ヘビーメタル系バンドでギターを弾きながらも、神社仏閣に関心を持ち、坐禅に取り組み、歴史小説を読み、歌舞伎座に通う高校生になった。

大学で邦楽サークルに勧誘され尺八を手にし、馴染んできた「演奏すること」と「和」がつながる。大学生生活最後の年にはNHK邦楽技能者育成会第44期生に合格。プロを目指す人たちのアンサンブルが刺激的だった。「やれるところまでやってみよう」と、師匠について技術を一から学び直す。

その後、尺八リオ「般若帝園」、「日本音楽集団」に参加し、海外での演奏会や学校公演を多数行ってきた。音だけでメッセージを伝えることは難しいけれど、尺八という現代ではめずらしくなってしまう楽器だからこそ、興味を持ってもらえると感じている。

尺八の根本にある虚無僧の古典本曲に取り組みむことがライヴワーク。その要素がこのユニットの音楽にも影響を与え、メンバーがこれまで取り組んできた民謡、御囃子、箏曲、本曲など、日本の音楽が持つ特徴を出し合い融合することで、もっと強烈な音楽を生み出したいと思っている。



市川 慎 | 箏・十七絃 |

幼い頃は親が忙しかけている原因である箏が大嫌いだった。箏には見向きもせず中学生からギターを始め、高校時代にはメタルバンドを組む。高校3年生のとき、TVで後の師匠となる琴奏者がギター音楽を思わせるオリジナル曲を演奏するのを見て衝撃を受ける。「こんなことができるなら、箏をやってみようかな。」卒業後に秋田から上京、沢井比河流氏、沢井一恵氏の門下に入る。周りは子どもの頃から始めてプロへと進む人ばかり。稽古だけでなく、礼儀作法も徹底的に叩き込まれる内弟子としての毎日は想像以上に厳しかったが、1年も経つと弾ける喜びを感じられるようになってきた。その後コンクール入賞やリサイタル出演などで若手演奏家として注目され、2002年には尺八とのユニット「ZAN」でメジャーデビューする。

ギターに近い弦楽器で好きな音楽をやり、さらに生田流箏曲「清談会」一家の跡取りとして四代目を継げば、すべてが上手くいく気がしていた。今は、古典を受け継いでいく過程でいくつ重要な使命があると感じている。さらに、より多くの人に箏を知ってもらうためにも、一緒に演奏する機会がなかった楽器とのユニットであるこのグループは魅力的だ。一人の琴奏者としても、和楽器だけでどこまでおもしろい音楽が作れるのか、チャレンジしたいと考えている。



美鵬 直三朗 | 太鼓・鳴り物 |

誤解を恐れずにいえば、太鼓奏者ではあるが「特別に」和を意識することは無い。

洋の東西を問わず楽器はたくさんあり、偶然自分の身近にあったのが日本の太鼓だった。和楽器奏者や唄い手がいる家で生まれ育った少年時代は、民謡が楽しいものだと感じていなかった。

中学、高校時代と美鵬流の創始者である祖父の稽古場へ通っていたが、嫌々取り組む毎日で怒られてばかりいた。卒業後の進路に「家の仕事」を選ばず就職して家を出るが、家族に頼まれ演奏を手伝うことが続くうち、太鼓が嫌いじゃない自分に気づき始める。一度離れた世界へ戻ることができることは祖父と親のおかげだ。

今、「自分は民謡も太鼓の演奏技術も美鵬から預かっている」と考える。「美鵬流を学びたい」といってくれる人を持っている技術を渡すことが「美鵬」の名を残すことにつながっていく。内弟子を終え、プロとして経験を積み、同世代の演奏家たちと出会うなかで、ようやく音楽の楽しさが感じられるようになった。太鼓や鳴り物で、音楽が持つ情熱に色づけしていくことに魅力を感じ、一人で演奏するよりもアンサンブルを好む。このユニットに参加したことで、演奏家としての視野が広がった。夢のあるチームで、もっと先にある何かを見たいと考えている。

芸術鑑賞友の会 Friends 令和4年度会員 募集のご案内

芸術鑑賞友の会m-Friends(エムフレンズ)では、盛岡市文化振興事業団が主催する公演の情報提供や、チケット割引、先行販売などの特典があります。詳しくはm-Friends事務局(Tel.019-621-5151/月曜休館)までお問い合わせください。

- 年会費(個人会員)：2,000円(チケット購入時の同時入会可)
- 申込先：盛岡市民文化ホール、盛岡劇場、キャラホール、姫神ホール窓口にて3月1日(火)から受付
- 個人会員特典：毎月の情報提供、チケット割引、先行販売、セット割引、ファミリーチケット割引、美術展ご招待、コンサート優待、提携サービス

ご来場の皆様へ 新型コロナウイルス感染症等の拡大防止のため、ご協力をお願いいたします。

- *チケットご購入時に、ご来場予定のお客様のお名前と連絡先を確認させていただきます。(発症者が出た場合に保健所等の関係機関との情報共有の際に使用させていただきます。)
- *発熱・咳などの症状、だるさ、息苦しさなど体調に不安がある場合は、ご来場をご遠慮ください。
- *新型コロナウイルス感染症に関する理由によるチケット払い戻し等のご相談は当ホールまでお問い合わせください。
- *接触確認アプリ(COCOA)や通知サービス(もしサポ岩手)などをご活用ください。
- *ご来場の際は、マスクをご着用ください。(スタッフもマスクを着用して対応させていただきます。)
- *入場時に手指のアルコール消毒、非接触型の体温測定を行います。

- *入場時、お客様のお名前と連絡先を記載したチケットの表面をご提示いただき、お客様ご自身でチケットを切りとってご入場いただきます。
- *入退場時や休憩時は、お客様同士の間隔を十分空けて、距離を保ってご移動ください。
- *退場時は、エリアごとの分散退場をお願いする場合があります。案内に沿ってご退場ください。
- *ご来場後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、保健所等のほか当ホールへもご連絡ください。
- *国や自治体等のガイドラインに沿った開催となります。感染症拡大の状況により、公演の中止や延期、内容や座席等の変更をする場合があります。